

設立趣旨書

海の危機・子どもの危機

地球の表面の7割を占める海。その母なる海は、生命の源を生み出し、多種多様な生物を育ててきました。そして人はさらに、その海から多くの恩恵を受け、生活や文化の構築をもたらされてきました。しかし近年、人類はその超大な活動の影響により、劇的な地球環境の悪化と生態系の機能の劣化を引き起こしています。特に海のダメージは深刻です。汚染と温暖化によって命の泉であるサンゴ礁や干潟が壊滅的な状態に陥り、漁業の技術進歩に伴う乱獲で、世界中の海で魚が急激に減っています。いまや海の生態系は取り返しがつかないほど破壊されつつあるのです。その要因の1つに私たち人間が自然から離れて生活していることが上げられます。私たちの生活が自然の根源から離れるにつれ、自然への粗暴な振る舞いに対しても無神経になっているのです。その行為は、確実に私たちの生活に跳ね返ってきています。大事な私たちの子どもたちは海や自然の中で遊ばなくなり、人生の基盤ともなるたくましさ、底力といったものが薄れ、ホンモノの豊かさが分からなくなってきています。今までの自然の中から体感的に学んできた、生きる力が損なわれてきているのです。

海辺の環境教育がもたらすもの

子どもたちが豊かな未来を築くために、人間活動による環境悪化を変革し好転させていくには、自然の中での体験を通した大きな気づきが必要です。私たちは、身近な海を中心に自然体験活動を展開していきたいと考えています。海を知れば、その命の営みは、山や空に、世界中の海につながっていることを知り、自然の循環、人も自然の一部なんだということを理解することができるからです。また、海は子供たちが誕生する前に親しんだ母体の環境と同じであるため、本来入り込みやすい場所であり、懐の深い海は子どもたちの可能性を無限に引き出します。楽しさや怖さ、発見の喜び、果てしない好奇心、挑戦と自分への自信、自分の身の守り方、仲間、自然への畏敬、将来への展望・・・海はたくさんのお話を授けてくれます。

子どもをはじめ人は、楽しい経験、感動、興味の喚起によって物事をよく知り・学び・考えるようになります。「海は楽しく、面白い」「海は素晴らしい」「海は大切だ」。海的环境教育活動を長年実施してきた海洋生物学者の故ジャック・モイヤー博士が常に言ってきたこの三つの言葉は、人が海を深く理解し、心から海を大切にしようとする気持ちを形成する、普遍的な仕組みなのです。

子どもの頃の原体験は、その人の人生を支える基となり、さらに地球の未来を創造します。ですから、私たちは次代を担う子どもたちに海的环境教育が必要と考え活動するのです。子供たちが自分の住む地域の身近な環境について意識し、とるべき行動を確実に実行する力が、やがて日本へ世界へと広がっていくことを期待します。

どんな活動をするのか

わたしたちは、具体的に次のような活動をしています。

- ① 全国の子どもたちへの海的环境教育。「サマースクール」と称し夏休みに小学生から高校生までの子どもを対象に行うプログラムです。離島や自然豊かな海辺で共同生活を送りながら、海で泳いだり潜ったりして自然観察をするとともに、地域の文化とも交流し、人とのかわりを学びます。自然保護、環境保全、社会貢献の意識をもった子どもたちを育成します。
- ② 海辺の地域の子どもの環境教育。「マリンキッズ」と称し、海辺を中心に、元気で海に強い子どもを育てる環境教育プログラムです。地域と連携して、自然保護、環境保全、地域文化の継承など、地域を担う子どもを育成します。
- ③ 海的环境教育や海辺の自然体験活動指導者養成事業。海的环境教育、環境保全、自然体験活動等子どもたちの育成にたずさわる海辺の活動の指導者を養成する事業です。
- ④ 啓蒙活動。海辺の環境教育の意義や地球環境問題について、インターネットや講演、書籍、ビデオなどで紹介し、より多くのひとたちと手をつなぎ活動の輪を広げていくための事業です。
- ⑤ 他環境教育、海洋活動などの活動団体と連携しネットワークを組んだり、他団体の支援をしたりします。

特定非営利活動法人オーシャンファミリー海洋自然体験センター
設立代表者 東京都三宅島三宅村神着1381番地
海野 義明